

平成30年第4回大田市議会一般質問

平成30年9月6日～

1. 大西 修議員【答弁⇒市長、関係する執行部】

《一問一答方式》

1. 小型風力発電に対し、地域住民との紛争回避のため条例制定を求めることについて
 - ・鳥井町風力発電所住民説明会が、7月14日、8月25日と2度ありました。小型風力発電による健康被害防止と住民とのトラブルを回避するために、大田市としてガイドライン（指針）だけではなく、一定の強制力のある条例の制定を求めます。
これまで、どのような調査・検討をしてきたのか伺います。
2. 農業者が安心して生活でき、かつ次世代の後継者が確保・育成できる支援策の拡大を求めることについて伺います。
 - ・石東地区無人ヘリコプターオペレーター協議会の支援について伺います。
 - ・「田園回帰」の流れについて、所見を伺います。

2. 小川和也議員【答弁⇒市長、副市長、教育長、関係部長】

《一括質問答弁方式》

1. 室内温水プールについて
 - ①室内温水プールの必要性について
 - ②建設予定（スケジュール等）について
 - ③活用方法（学校教育・健康増進等）について
 - ④運営方法について
 - ⑤財源確保について

3. 亀谷優子議員【答弁⇒市長、教育長、関係部課長】

《一問一答方式》

1. 学校現場での熱中症対策について
 - 今夏の猛暑により、愛知県の小学生が熱中症によって命を落とすという大変痛ましい事が起きた。大田市の小中学校の普通教室へのエアコン設置率は、県内の他の市町村に比べると非常に低いことから、エアコン設置を求める声が非常に高まっている。政府も対応に乗り出したように、これは喫緊の課題である。児童や保護者からの切実な要望に応えるためにも、普通教室へのエアコン設置と、災害時に地域の学校の体育館に避難することから、体育館への設置が必要ではないか。
2. セーフティネットとしての学校給食について
 - 2005年に食育基本法が成立し、子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけるためには、何よりも「食」が重要だとされた。学校における食育の推進は、心身の健康にとっても社会性や感謝の心を培う上でも、食文化の観点からも重要である。給食は学校生活の一部であり、「義務教育無償」の原則にしたがって、無料化を求めていくのは当然の流れだと言えるがどうか。
3. 大田市の災害対策について
 - 7月の豪雨は西日本を中心に各地で甚大な被害をもたらしました。ハザードマップの説明会を、小規模な単位で行うべきではないか。

4. 根宜和之議員【答弁⇒市長、副市長、関係部課長】

《一問一答方式》

1. 大田市の子ども・子育て支援事業計画について
 - 大田市は、大田市子ども・子育て支援事業計画を策定し、その中で公立保育所のあり方、施設整備についての方針を示していますが、現在の厳しい財政状況の中、老朽化設備や施設、旧耐震基準施設などの問題に対して、多くの予算を投じる事が出来るのか難しい課題に直面しています。
しかし、安心安全な保育所運営のためには、早急な対応が必要で、計画以上の創意と柔軟性、スピードを持たなければなりません。
そこで、「民間活力の活用」が、さらに重要な意味を持ってきた現在、①今後の保育所運営のあり方と、②施設の建て替え計画について、改めて伺います。

2. 大田市の医療政策について

大田准看護学校は、地域の医療介護提供体制を支える人材育成に対し、非常に重要な役割を担っています。

しかし、今年6月、今後の運営について「入学者数によっては平成32年度以降の募集を停止し閉校もやむを得ない」との表明がありました。このままでは近い将来、医療介護の人材不足に拍車がかかるのではないのでしょうか。

そこで、大田市として①地域の医療介護提供体制に問題が生じないのか、②准看護学校への支援策について伺います。

5. 胡摩田弘孝議員【答弁⇒市長、関係部課長】

《一問一答方式》

1. 大田市の林業政策と全国植樹祭について

森林は、多面的機能を有しており、国土保全など私たちが受ける恩恵は計り知れないものがあると言われていました。近年は、輸入材の不安定供給や国産材利用促進法、震災復興の関係もあり、国産材が見直しされ、一割程度まで落ち込んでいた国産材のシェアは3割近くまで回復してきています。

幸い大田市には、豊かな森林資源があり、地域資源を生かした事業を進めることは、地域の活性化や新たな雇用にも繋がると思われます。そこで、以下4点について伺います。

- ①全国植樹祭の概要と進捗状況について
- ②森づくり推進室の成果や大田市の森林事業の課題、問題点について
- ③森林組合や関係団体、組織との連携の状況について
- ④全国植樹祭、森林環境税を踏まえた大田市の施策について

2. 「仁摩道の駅」(仮称)の整備について

山陰道の全線開通時を目的に、仁摩地内へ道の駅を整備するため、平成27年9月に、道の駅整備の基本的な事項と方向性を定める「仁摩道の駅(仮称)整備構想」が策定され、昨年には道の駅・駅長候補が全国公募で専任されました。

設置にあたっては住民・事業者の方々のご意見や各商工団体等との意見交換、道の駅整備検討委員会やワークショップなどの取組みをされてきましたが、現在想定をされている事業内容について以下3点を伺います。

- ①道の駅の規模、建設費、財源の確保について
- ②特徴的な施設や目玉はあるのか。
- ③施設の運営・管理方法について

6. 三谷 健議員【答弁⇒市長、教育長、関係部課長】

《一問一答方式》

1. 多文化共生に向けての大田市のビジョン、今後の施策について

出雲市は、増え続ける外国人居住者に対して、様々な行政施策、官民一体となったボランティアサポートなどを行い、市長も積極的に多文化共生を推進しているが、大田市は、この点では立ち遅れが否めない。地震時の在住外国人の不安、行政への不満も露呈しており、当市も少なからず対策を講じるべきと考えるが、所見と今後の施策を問う。

2. 大田市のインバウンド戦略について

大田市独自で、例えば、どの国(地域)の、どういう人向けに、何をプロモーションしているのか。どういう手法で、どのくらいのコストをかけ行っているのか等問う。

7. 内藤芳秀議員【答弁⇒市長、関係部課長】

《一問一答方式》

1. 大田市の財政状況について

本年4月に大田市を震源地とする地震が発生し、一般住宅、公共施設、道路等市民の生活に多大な影響を与えました。これに対し、市は財政調整基金を12億円取り崩すとともに、6月、9月の予算補正により、総額15億5千万円余を予算化し、市民生活の安心安全の確保のため努力されましたが、今後の事業計画を考えると、財政的に一層厳しさを増したことは否めません。

そこで次の7点について伺います。

- 地震による被害で罹災証明書発行件数。
- 生活再建支援金申請状況件数と金額。
- 市税、固定資産税、国民健康保険料、介護保険料の減免状況ならびに金額。
- 財政調整基金を12億円取り崩さざるを得なかったが、現時点でどの位残っているのか。
- 財政調整基金の直近5年間の推移についてと今後の財政運営についての考え方。
- 今年度の起債残予定額は、298.3億円だが、この件についてはどうなるか。
- 減債基金の状況・特定目的基金の状況と今後の運用についての考え方。

2. 都市計画税のあり様について

都市計画税は、都市計画事業または都市区画整理事業に要する費用に充てるために目的税として課税されるものですが、公平公正分かりやすさの視点から見たとき、やや分かりにくさがあります。

そこで次の5点について伺います。

- 大田市はいつから都市計画税を導入してきたか。
- どのような都市計画事業があり、どのように執行してきたか。
- 都市計画税の歳入の推移について。
- 都市計画税のエリアについて用途区域の都市計画区域と都市計画税対象区域をどのように区別しているか。
- 都市計画税の問題点についてどのように捉えているか。

3. 大田市立地適正化計画策定について

この計画は都市計画マスタープランの高度化版であり、市街地への居住誘導と都市機能施設を立地することで空洞化を防ぐことと、計画策定をすることで有利な財源を確保することと聞いています。

そこで次の3点について伺います。

- この計画策定により具体的な事業予定とスケジュールについて。
- 都市計画道路について事業計画はあるか。
- 大田地区以外の生活拠点区域の対応について、どう考えているか。

8. 清水 勝議員【答弁⇒市長、教育長及び関係する執行部】

《一問一答方式》

1. 大田自動車学校の存続に向けて

島根自動車学園（学校法人）は、2019年度中に大田自動車学校を閉校し、出雲自動車学校に統合する方針を発していますが、市民の自動車運転免許の取得と70歳を超える高齢者講習の受講義務化に関し、大田自動車学校の存在は、利便性と安心感を与え、暮らしを支えている観点からも不可欠な教育機関です。昭和38年に開校された大田自動車学校が、引き続き存続して運営できるように対処されることを求めて伺います。

- ・学校法人島根自動車学園側からの課題に対する検討方。
- ・免許の取得は高校生等の就職要件でもあり、また大型特殊免許の取得希望者の動向方について。
- ・70歳以上の高齢者講習が増高推移にあるようです。不安感を払拭すべきと考えるが如何か。

2. 障がい者雇用の実態と雇用促進方について

中央省庁が障がい者雇用を水増ししたルール違反は、監督・指導的機関として許しがたい。本市も法定雇用率に達していないようです。障がい者の労働機会を奪った問題でもあります。障害者雇用促進法や指針に沿った施策を講じられることを尋ねます。

9. 石田洋治議員【答弁⇒市長、副市長、教育長、関係部課長】

《一問一答方式》

1. 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保について

大阪北部を震源とする地震により女子児童が亡くなる事故が発生したことを受け、文科省から都道府県教育委員会などに安全点検等状況調査が依頼された。また、学校施設が常に健全な状態を維持できるよう適切な管理についても通知されている。そこで、大田市における学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保について所見を伺う。

- (1) 学校・幼稚園、保育施設などのブロック塀等の安全点検状況について。
- (2) 学校防災マニュアルに基づく通学路の確認について。

2. ひきこもり対策推進事業について

現役世代の不就労者・引きこもりの増加は、地域の活性化を妨げるだけでなく、高齢家庭の負担となっている。地域で就労できずに引きこもっている実態を調査し、支援策の実施が求められている。大田市においても、地元地域での引きこもり者の社会復帰支援を行うべきと考えるが所見を伺う。

3. 大田市役所における障がい者雇用の実態について。

行政機関における障がい者雇用率の不適切な取扱い事案の報道が続いている。大田市における障がい者雇用の実態、不適切な事例の有無について伺う。

10. 森山幸太議員【答弁⇒市長、副市長、教育長、関係部課長】

《一括質問答弁方式》

1. 大田自動車学校について

学校法人島根自動車学園が運営する島根県公安委員会指定の大田自動車学校を閉校する方針を決められました。若年層の免許取得減少による経営悪化が主因で、系列の出雲自動車学校に事業統合して、現在の入校生や高齢者講習受講者への対応等を勘案し、2019年度の閉校を想定しています。

そこで下記の点について伺います。

- (1) 大田市と同法人各位におけるこれまでの協議の経緯を伺います。
- (2) 今後、大田市としてどのような対応をされる考えなのか、所見を伺います。

2. 大田市内の公立小・中学校教室等のエアコン設置について

異常気象とも言われるように、猛暑の夏が続きました。これから毎年、このような高温が続く教室内の学校生活は、まさに命と健康に関わる問題であります。

そこで下記の点について伺います。

- (1) 大田市内の公立小・中学校のエアコン設置状況について伺います。
- (2) 全小・中学校にエアコン設置をする考えの有無を伺います。
- (3) エアコンの維持、管理費補助など市独自のふるさと納税で寄附を募るなどの財政支援に取り組むべきであると考えますが、所見を伺います。

1 1. 和田浩司議員【答弁⇒市長、関係部課長】

《一問一答方式》

1. 公共交通の今後のあり方について

自動車免許の自主返納の推奨により、特に中山間地に住む高齢者においては、外出や通院、さらには買い物等で不便を被る状況が増加しています。今後、コンパクトシティの実現や自動運転システムが一般化しない限り、この状況は改善することは不可能な現状が明らかになっています。

そこで、地域公共交通について、過去実施された取組みの検証結果及び考察、さらに今後の展望について伺います。

2. 予算編成のあり方について

社会保障費や社会インフラの維持管理等に係る義務的経費の増大が確実な中、税金の落ち込みや地方交付税の減額などを踏まえると、今後の自治体の予算編成はより一層重要な業務となってきます。

従来より行財政改革を通して、予算編成については十分な検討がなされてきたとは思いますが、現状報告される予算概要書においては、特に政策的・投資的経費等について、事務事業の評価結果に基づいた数値設定ではなく、前年踏襲主義が継続されていると思われま

す。そこで予算編成作業において、どのようなプロセスを経て、どのようなポイントを重視されて策定されているのか伺います。